

## 謝辞

本研究は建築物の耐火設計[耐火性能検証]における設計火災荷重の適切な設定のためには、リスクの概念を導入する必要性があることを痛感して2000年過ぎ頃から考え始めたものである。諸般の事情もあって、研究の進捗は必ずしも円滑ではなく、それから既に長い年月を要したが、特に近年多くの若手研究者からの貴重な協力を頂いてやっと本報告を纏められる段階に至ることが出来た。

特に下記の方々の貢献無くしては、本報告の形に研究を纏めることは困難であったと感じる。ここに記して衷心からの謝意を表したい。

(敬称 略)

池島由香	大成建設技術センター
角谷三夫	関西建築防災研究所
新谷祐介	竹中工務店技術研究所
水野雅之	東京理科大学理工学研究科